



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社  
コード番号 3104 URL <https://www.fujibo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 雅偉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 吉田 和司

TEL 03-3665-7612

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	28,989	7.7	4,445	5.4	4,545	6.0	3,077	8.9
2022年3月期第3四半期	26,921	1.8	4,698	10.7	4,838	10.5	3,377	10.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,449百万円 (4.9%) 2022年3月期第3四半期 3,287百万円 (4.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	268.48	
2022年3月期第3四半期	294.81	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	61,890	42,711	69.0
2022年3月期	58,531	40,497	69.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 42,711百万円 2022年3月期 40,497百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		55.00		55.00	110.00
2023年3月期		55.00			
2023年3月期(予想)				55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,700	2.2	4,880	17.0	5,050	16.5	3,450	22.6	300.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	11,720,000 株	2022年3月期	11,720,000 株
2023年3月期3Q	252,507 株	2022年3月期	260,399 株
2023年3月期3Q	11,464,354 株	2022年3月期3Q	11,457,389 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府が新型コロナウイルス感染症に関する行動制限をしない方針や水際措置の見直しが発表される等、経済活動の水準引き上げが進みつつあります。しかしながら、ロシア・ウクライナによる紛争が継続していること、原油価格が依然として高い水準にあることや原材料の高騰に加え、急激な円安の影響に伴う物価の上昇が続いており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『増強21-25』において、計画期間5年間の前半3年を「高収益体質への転換と種まき」ステージと位置づけ、各事業の成長基盤の増強に取り組んでおります。計画2年目となる当期は、研磨材事業では、研究開発力の加速、生産能力の増強を進めました。化学工業品事業は、柳井・武生両工場がフル稼働を続けており、生活衣料事業では、利益率の高い製品へのシフトによる収益性向上を図りました。また、全ての事業で、高騰し続けている原材料費、エネルギーコストの上昇分を適切に転嫁できるよう努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2,068百万円(7.7%)増収の28,989百万円、営業利益は252百万円(5.4%)減益の4,445百万円、経常利益は292百万円(6.0%)減益の4,545百万円となりました。これから特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比299百万円(8.9%)減益の3,077百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### ①研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、ハードディスク用途および液晶ガラス用途は、新型コロナウイルス特需の反動を受け、主要ユーザーの大幅な生産調整および在庫調整により、受注が大きく減少しました。

また、シリコンウエハー用途および半導体デバイス用途(CMP)などは、世界的な景気後退に加え、データセンター、パソコン、タブレット端末、スマートフォンなどの半導体需要減退の影響を受け、稼働が下がり、調整局面に入りました。

この結果、売上高は前年同期比714百万円(6.3%)増収の12,039百万円となり、営業利益は256百万円(8.7%)減益の2,704百万円となりました。

#### ②化学工業品事業

機能性材料、医薬中間体および農薬中間体などの受託製造は、国内需要の回復に加え、中国における環境規制の影響や新型コロナウイルス感染症拡大による海外生産リスクも顕在化したことで、化学工業品生産の日本国内回帰の傾向が続き、機能性材料用を中心に安定生産を継続することができました。しかし、原材料・原燃料の高騰が続いており、利益は圧迫されました。

この結果、売上高は前年同期比613百万円(7.3%)増収の9,062百万円となり、営業利益は113百万円(10.7%)減益の946百万円となりました。

#### ③生活衣料事業

生活衣料事業は、繊維素材は、ウクライナ情勢を要因とした原油価格上昇に伴う物流や原材料のコスト高と、円安に伴う部材調達や海外製造の高騰がさらなる追い打ちをかけ、厳しい環境が続きました。一方、繊維製品は、より収益性の高い製品への絞り込みに加え、多様化する顧客ニーズや市場動向に応じ、EC販売やデジタルマーケティングを強化することで、販売が堅調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比237百万円(4.4%)増収の5,613百万円となり、営業利益は13百万円(2.2%)増益の644百万円となりました。

## ④その他

化成部品部門は、デジタルカメラ用部品および医療機器用部品が、縮小傾向が続いていたデジタルカメラ市場に底打ちの兆しが出始めたことや、医療用プラスチック市場の回復により、受注が堅調に推移しました。金型部門では、自動車市場が回復基調になりました。また、2022年11月1日付で取得し連結対象となった金型子会社の売上高が増加しましたが、同社株式の取得関連費用が発生しました。貿易部門は、収益性、安全性の高い取引を対象を絞り、採算性を改善しました。

この結果、売上高は前年同期比503百万円(28.4%)増収の2,274百万円となり、営業利益は102百万円(219.6%)増益の149百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて3,358百万円増加の61,890百万円となりました。

流動資産は1,126百万円増加の23,671百万円となりましたが、これは現金及び預金が減少しましたが、棚卸資産が増加したことなどによります。

固定資産は2,231百万円増加の38,218百万円となりましたが、これは研磨材事業や化学工業品事業における設備投資により有形固定資産が増加したことや、子会社の取得によりのれんが増加したことなどによります。

## (負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて1,143百万円増加の19,178百万円となりました。

流動負債は727百万円増加の12,203百万円、固定負債は416百万円増加の6,974百万円となりました。これは、設備関係支払手形などのその他流動負債が増加したことなどによります。

## (純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて2,214百万円増加し、42,711百万円となりました。これは、剰余金の配当による減少が1,260百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加が3,077百万円あったことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

これまで堅調に推移してきた研磨材事業の業績は、第3四半期以降に主要国の金利上昇、中国のゼロコロナ政策に端を発する景気後退や半導体関連商品の在庫積み上げの反動に伴う生産調整に加え、シリコンサイクルの下降局面が重なったことにより、予想を下回る結果となりました。また、原材料高騰によるコストアップの影響などもあり、今後2四半期程度は厳しい状況が続くと見込まれます。このような状況を踏まえ、2022年10月28日に公表した通期連結業績予想を修正しております。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,330	7,859
受取手形及び売掛金	8,510	8,656
商品及び製品	1,103	1,355
仕掛品	2,098	2,880
原材料及び貯蔵品	1,321	1,845
その他	1,196	1,090
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	22,544	23,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,072	11,019
機械装置及び運搬具（純額）	7,672	7,543
土地	13,798	13,850
その他（純額）	1,029	1,353
有形固定資産合計	32,572	33,766
無形固定資産		
のれん	317	1,177
その他	287	259
無形固定資産合計	605	1,437
投資その他の資産	2,808	3,014
固定資産合計	35,987	38,218
資産合計	58,531	61,890

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,955	4,309
電子記録債務	928	1,296
短期借入金	1,306	1,469
未払法人税等	754	457
引当金	648	402
その他	2,882	4,269
流動負債合計	11,476	12,203
固定負債		
長期借入金	60	287
退職給付に係る負債	4,376	4,282
資産除去債務	324	493
その他	1,797	1,911
固定負債合計	6,557	6,974
負債合計	18,034	19,178
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,196	2,206
利益剰余金	29,676	31,493
自己株式	△530	△515
株主資本合計	38,015	39,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	632	754
繰延ヘッジ損益	1	△5
土地再評価差額金	1,540	1,540
為替換算調整勘定	334	597
退職給付に係る調整累計額	△27	△32
その他の包括利益累計額合計	2,481	2,853
非支配株主持分	0	0
純資産合計	40,497	42,711
負債純資産合計	58,531	61,890

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	26,921	28,989
売上原価	17,104	19,044
売上総利益	9,816	9,945
販売費及び一般管理費	5,118	5,500
営業利益	4,698	4,445
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	45	56
固定資産賃貸料	222	263
その他	25	28
営業外収益合計	294	350
営業外費用		
支払利息	8	10
固定資産賃貸費用	57	58
為替差損	23	78
その他	64	101
営業外費用合計	154	249
経常利益	4,838	4,545
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産処分損	77	52
減損損失	7	0
その他	10	—
特別損失合計	94	52
税金等調整前四半期純利益	4,747	4,495
法人税、住民税及び事業税	1,223	1,240
法人税等調整額	146	176
法人税等合計	1,369	1,417
四半期純利益	3,377	3,077
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,377	3,077

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,377	3,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114	121
繰延ヘッジ損益	4	△7
為替換算調整勘定	25	262
退職給付に係る調整額	△6	△5
その他の包括利益合計	△90	371
四半期包括利益	3,287	3,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,286	3,449
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	11,325	8,449	5,375	25,150	1,771	26,921	—	26,921
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,325	8,449	5,375	25,150	1,771	26,921	—	26,921
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	—	0	△0	—
計	11,325	8,449	5,376	25,151	1,771	26,922	△0	26,921
セグメント利益	2,961	1,059	630	4,651	46	4,698	△0	4,698

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業および化成製品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	12,039	9,062	5,613	26,715	2,274	28,989	—	28,989
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,039	9,062	5,613	26,715	2,274	28,989	—	28,989
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	3	3	—	3	△3	—
計	12,039	9,062	5,616	26,718	2,274	28,993	△3	28,989
セグメント利益	2,704	946	644	4,295	149	4,445	0	4,445

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業および化成事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、2022年11月1日付で㈱GFIホールディングスの全株式を取得し、同社及びその子会社を連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては911百万円であります。